

持出禁止

保存用

資 407

D-73-管調費-No.7

昭和46年3月 初版
昭和48年12月 改訂版

各国事情のしおり

—— ケニア 編 ——

1973・12

海外技術協力事業団



| 国際協力事業団 | |
|-----------|------------|
| 受入 月日 | '87. 6. 25 |
| 登録 No. | 08724 |
| | 407 |
| | 20 |
| | EX |

は し が き

本小冊子は、技術協力のために海外に派遣される専門家のオリエンテーション用資料として事業団海外事務所からの調査報告をもとに作成したものである。

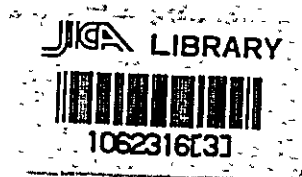
本小冊子は、事業団海外事務所の役割（専門家派遣に係る業務の範囲）、専門家に対する要望事項について記すとともに、専門家の日常生活に密着した任国事情、特に衣、食、住、気候、教育、公共施設、治安、対日感情等を重点に作成した。

本小冊子の各項目については、今後も適時修正をおこなつてゆくが、本小冊子が同国に赴任される専門家の何らかの参考になれば幸である。

昭和48年12月

海外技術協力事業団

理事長 田付景一

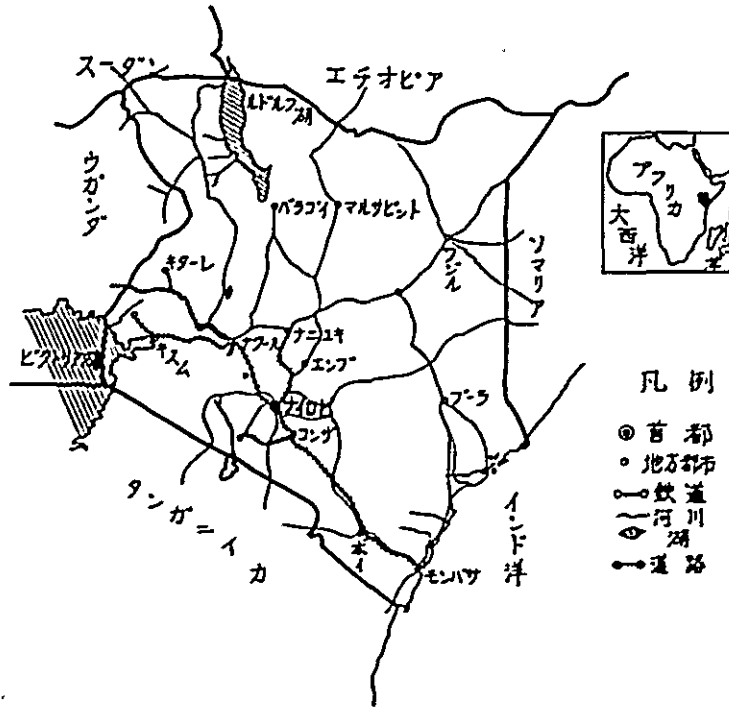


目 次

| | | |
|----|--|----|
| I | 海外技術協力事業団海外事務所について | 1 |
| | 1. 海外事務所の役割 | 1 |
| | 2. 専門家に対する要望事項 | 2 |
| II | 任 国 事 情 | 3 |
| | 1. 住宅（住宅事情、家賃等、ホテル、什器・備品） | 3 |
| | 2. 食品（食糧事情、価格、外食） | 5 |
| | 3. 衣類、日用品（衣料事情、日用品） | 10 |
| | 4. 使用人 | 12 |
| | 5. 医療（医療事情、医薬品、健康管理上の注意事項） | 12 |
| | 6. 子弟の教育機関（教育機関、授業料、通学方法） | 13 |
| | 7. 娯楽設備（保養地等、日本人クラブ等） | 15 |
| | 8. 電 力 | 15 |
| | 9. 交通（交通事情、ハイヤー、自動車購入、運転免許 ガソリン代） | 15 |
| | 10. 為替（相場、対日送金、滞在費等受取方法） | 17 |
| | 11. 出入国管理（税関検査、ビザ手続き等） | 18 |
| | 12. 便宜供与（種類、カウンターパート、免税特権） | 18 |
| | 13. 通信、運輸（郵便事情、運送） | 19 |
| | 14. 言語（公用語、英語等の普及等、語学学習） | 20 |
| | 15. 気 候 | 20 |
| | 16. 治安（一般情勢、夜間外出、緊急時連絡方法） | 21 |
| | 17. その他（対日感情、新聞・雑誌等、風俗・習慣、 理髪・美容等、買物） | 21 |

| | |
|-------------------------|----|
| Ⅲ 同国に対する我国の技術協力実績 | 23 |
| Ⅳ ケニア関係資料目録 | 25 |
| Ⅴ 海外事務所等連絡先 | 26 |

ケニア共和国略図



- ☆ 面積 58万2,644 km²。
- ☆ 人口 1,051万人(1969年)。
- ☆ 首都 ナイロビ Nairobi (人口48万人)。
- ☆ 通貨単位 1 シリング = 38 円。
- ☆ 宗教 原子宗教が多い。回教20%, キリスト教4%。
- ☆ 公用語 英語。
- ☆ 住民 バンツ族, アジア人3%, 欧州人1%。

生産業は農業であるが、農産物加工、繊維工業など軽工業が序々に発達している。

I 海外技術協力事業団海外事務所について

1. 海外事務所の役割

(1) 赴任当初

① 空港出迎え

専門家および家族をナイロビ空港内入国管理事務所に出迎え入国手続、税関検査が円滑に行くよう側面から援助する。

② ホテルへの案内

ホテルはあらかじめ当事務所で予約しておき、到着当日はホテルで簡単な日程打合せを行なう。

③ 大使館および関係官庁への紹介

原則として到着翌日大使館関係先に紹介、今後の実施方法等につき打合せを行なう。

④ 勤務先への案内

モンバサ、ナクール等ナイロビ市の他の地域に赴任する専門家についてはこれを行っていない。

⑤ 住宅斡旋

住宅はケニア政府が提供するが必要に応じアドバイスを与える。

⑥ 携行機材の引取り

船積書類をケニア側関係者に手渡し、ケニア側で引取業務を行う。

⑦ 私物、アナカン等

引取業者を紹介する程度。

⑧ 調査団に対する通訳、車輛備上の斡旋

必要に応じ実施している。

(2) 赴任中

① 業務報告書等の提出

報告書及び事務連絡等専門家が公式に事業団へ連絡する文書を海外事務所に提出してもらい本部へ送付する。

② 住宅調査，共済給付請求書の確認

③ 専門家勤務先への定期的訪問

定期的訪問は不可能であるが出来る限り訪問の機会をつくり専門家の希望，問題点をケニアに伝えている。

④ ビザの更新

所属官庁より経済企画省を通じ入国管理事務所に申請する。

⑤ 緊急時の治安対策及び連絡ルート

専門家リストを作成し電話連絡がとれるが，旅行の際は任国外旅行許可申請書を提出してもらい所在をあきらかにする。

2. 海外事務所からの専門家に対する要望事項

(1) 専門家としての体面上の心得，注意

専門家は日本を代表する技術指導者であるから常に言動，服装等には十分注意し，専門家として恥かしくない行動を心がけケニア人に対し理解をもって指導にあたること。

(2) 語学研修上の注意

ケニアは全国的に英語の通じる国であり，英語を話すのみならず英語の報告書も書ける位の力を身につけるべきである。

II 任国事情

1. 住 宅

(i) 住宅事情

① エージェントの有無

エージェント有り、その他新聞案内、在留邦人の紹介を利用。

② 入手の難易度

都市周辺は人口増加の傾向であり（特にナイロビ）、家賃は急激に上昇している。

③ 賃借方法

契約は普通2カ年。家賃は3カ月分（1カ月分もある）前払い。期限内解約は3カ月前の予告又は3カ月分の家賃の支払いが一般に必要である。家を出る場合ペイント料等請求される場合もあるので入居前に条件を確認すること。

(e) 家 賃（1シリング=約38円）

| | シリング |
|-------------------|-------------|
| 2ベッドルーム フラット 家具なし | 1,700～2,300 |
| 家具付 | 2,000～2,500 |
| 3ベッドルーム フラット 家具なし | 2,300～2,700 |
| 家具付 | 2,500～3,000 |
| 1戸建家屋（庭付） | 3,000～5,000 |

以上はナイロビ市内の家賃であるが、ナクール、モンバサの場合はこれより3割から5割安い。

(ハ) ホテル

① 短期滞在ホテル

| ホテル | シングル | ダブル |
|------------------------|--------|--------|
| ナイロビ ヒルトン (泊のみ) | 195.20 | 292.80 |
| インターコンチネンタル (泊のみ) | 155 | 175 |
| シックスエイティ (泊のみ) | 156 | 207.50 |
| パンアフリック (朝食付) | 115 | 190 |
| アジップ (朝食付) | 73.50 | 123 |
| ニューアベニュー (朝食付) | 70 | 120 |
| アインズワース (朝食付) | 58.50 | 105 |
| ナクール スタッグスヘッド (朝食付) | 105 | 175 |
| ミッドランド (朝食付) | 63.25 | 86.25 |

② 長期滞在ホテル

ナイロビ

YMCA (3食付) 月 540～920

イクエーター (3食付) 月 1,000～1,500

ノルマンディー (3食付) 月 1,000～1,500

長期に利用する場合にはサービスフラットも利用出来る。
これは一応臨時に数カ月等入居するフラットで一通りの家具、台所用品等がついており直ぐに入居して生活出来る様になっている。

とりあえず、家を見つける間に利用すれば便利である。

2ベッドルーム サービスフラット 月2,000 シリング程度

(=) 什器・備品

- ① 日本式茶碗，茶器，包丁（さしみ包丁），摺鉢，むし器，すりこぎ，大根おろし金等は携行した方がよい。釜は高地（モンパサ等海岸を除く）であるので高圧釜を使用する）。
- ② 入居当初必要とする経費
家具付の場合でもカーテン，寝具等かなりの経費を要する。

2. 食 品

(1) 食糧事情

① 一般的食糧事情

米は以前は輸出品のカリフォルニア米があったが現在は現地産の米のみで将来とも米の輸入は禁じられる傾向である。大体のものは入手可能，鮮魚（季節によって，タコ，アジ，イカ，マグロ，タイ，エビ）入手可能。

② 日本食品の入手状況

現在では味噌，しょう油，インスタントラーメン，そうめん，そば，うどん，缶詰，びん詰（コンニャク，カマボコ，福神漬，ナラ漬，餅，いかの塩辛），日本酒が購入出来るが，インド人よりケニア人への経営権の移項の問題もあり，将来とも日本食が輸入出来るか不明である。

梅干，小豆，海苔は入手困難。日本茶はケニア産が利用出来る（500g 13.50シリング）。漬物用の糠は日本から持参した方がよい。ハウス，豆腐，そば，そうめん類。

③ 水，燃料等

水は良質でそのまま飲用出来る。調理用燃料は電気又は

プロパンガス(たまに木炭)。風呂は一般に電気，暖房は薪または電気ヒーター。

④ 日本食レストランの有無

「赤坂」および「侍」の2軒のみ。昼食は13～15 シリング程度。天ぷら，すきやき，25 シリング程度。

(ロ) 価 格 (1シリング=約38円)

| 品 名 | 数 量 | 価 格 (シリング) | 備 考 |
|-------------------|------|---------------|---------------|
| 米 | 1 kg | 1.65 | ローカルグレイド No 2 |
| | | 2.50 | ローカルグレイド No 1 |
| 食パン | 1斤 | 0.85 | |
| 牛肉 | 1 kg | 11~13 | |
| | | 7.90 | ひき肉 |
| 豚肉 | 1 kg | 10~25 | |
| | | 11 | ひき肉 |
| 鳥肉 | 1 kg | 10 | |
| 鶏卵 | 6コ | 2 | |
| まぐろ | 1 kg | 15 | 時々入荷 |
| さけ | 1 kg | 100 | 輸入品(冷凍) |
| あじ | 1 kg | 12 | 時期的なもの |
| かれい | 1 kg | 15~20 | 入荷少ない |
| キングフィッシュ (さわら) | 1 kg | 14 | |
| さより, かます | 1 kg | 21 | |
| たこ, いか | 1 kg | 15 | 時期的 |
| えび | 1 kg | 18~38. | |

| 品名 | 数量 | 価格 (シリング) | 備考 |
|----------|------|--------------|---------|
| かき | 1 kg | 35 | |
| 冷凍ニシン | 1 kg | 6.60 | |
| レイクフィッシュ | 1 kg | 12 | |
| キャベツ | 1 kg | 1 | |
| ほうれん草 | 1 kg | 3 | |
| レタス | 1コ | 0.75 | 1コ約250g |
| 馬れいしょ | 1 kg | 0.50 | 白 |
| | 1 kg | 1 | 赤 |
| 大根 | 3本 | 1 | 細い |
| 玉ねぎ | 1 kg | 3 | 白 |
| | 1 kg | 3.50 | 赤 |
| きゅうり | 1 kg | 2.50 | 小 |
| | 1 kg | 4.50 | 大 |
| 人参 | 1 kg | 1~1.50 | |
| トマト | 1 kg | 3 | |
| なす | 1 kg | 2.50 | |
| とうもろこし | 3本 | 1 | |
| いんげん | 1 kg | 2 | |
| そら豆 | 1 kg | 3.50 | |
| グリーンピース | 1 kg | 2 | |
| さつまいも | 1 kg | 3 | |
| カリフラワー | 1 kg | 2 | |

| 品名 | 数量 | 価格 (シリング) | 備考 |
|----------|------|--------------|--------------|
| おくら | 1 kg | 3 | |
| ねぎ | 1束 | 1 | |
| | 1束 | 0.20 | わけぎ |
| 白菜 | 1 kg | 3 | |
| かぶ | 1 kg | 1.50 | |
| マッシュルーム | 1 kg | 14 | |
| しょうが | 1 kg | 8 | |
| セロリー | 1 kg | 2 | |
| ガーリック | 1 kg | 4.50 | |
| みかん | 1 kg | 4 | 1コ約100g |
| りんご | 1 kg | 10~12 | 輸入品(オーストラリア) |
| いちご | 1箱 | 3.50 | 小 1箱 500g |
| | | 4.50 | 大 1箱 500g |
| バナナ | 12本 | 1 | 小 |
| | | 2 | 大 |
| レモン | 1 kg | 1.50~2 | |
| パイナップル | 1 kg | 1.50 | |
| パイナップル | 1コ | 2 | |
| グレープフルーツ | 1コ | 0.60 | |
| ぶどう | 1 kg | 14 | 輸入 |
| マンゴー | 1コ | 1.50 | |
| メロン | 1コ | 8 | 輸入 |

| 品名 | 数量 | 価格 (シリング) | 備考 |
|--------|--------|--------------|---|
| ブラム | 1 kg | 2.20 | |
| 小麦粉 | 1 kg | 1.35 | |
| 牛乳 | 500 g | 0.90 | テトラパック入り |
| 粉ミルク | 500 g | 3.35 | ビニール袋入り |
| バター | 250 g | 2.60 | |
| チーズ | 180 g | 3.05 | |
| ハム | 1 kg | 28.75 | |
| ソーセージ | 1包 | 3.25 | |
| ベーコン | 1包 | 3.75 | |
| 砂糖 | 1 kg | 4.75 | 香港製輸入 |
| | | 1.85 | ローカル |
| サラダ油 | 900ml | 13.50 | |
| マーガリン | 250 g | 2.10 | |
| マヨネーズ | 425 g | 12.50 | 輸入 |
| しょう油 | 1/2ガロン | 29.50 | 日本製キッコーマン |
| ソース | 184ml | 3.60 | |
| 塩 | 2 kg | 3.70 | |
| 椎茸 | 8 オンス | 90 | 輸入(中国) |
| チョコレート | 45 g | 1.50 | 板チョコレート |
| ビスケット | 200 g | 2.30 | |
| 落花生 | 125 g | 2.10 | |
| ビール | 500ml | 2.75 | ピルスナー、シティ ラガー、ホワイトキ ップ(ビン代0.40こみ) |

| 品名 | 数量 | 価格 (シリング) | 備考 |
|------------|-----------------|--------------|--|
| ビール | | 2.60 | |
| ウイスキー | 750cc | 78.95 | ジーバスリーガル(12年) |
| | 750cc | 66.55 | ジョニ黒 |
| | 750cc | 55.30 | ジョニ赤、ホワイトホース ブラックアンドホワイト スポーツマンエンバシー |
| タバコ | 20本入 | 2~2.40 | |
| 紅茶 | 50袋 (ティーバック) | 2.80 | ブルークボンド |
| 日本茶 | 500g | 12.50 | ケニア産 |
| インスタントコーヒー | 113g | 7.80 | ネスカフェ黒ピン |
| | 50g | 2.95 | ケニア(缶入り) |
| ジュース類 | 290ml | 1.40 | ファンタ、オレンジ ピン代 0.60 込み |

(b) 外食

ナイロビでは日本料理、中華料理、イタリア料理、フランス料理店等があり、モンバサでは魚料理も利用出来る。

3. 衣類、日用品

(1) 衣料事情

① 一般的衣料事情

輸入品は5~10割高い、現地製は質が悪く結局無駄になる場合が多い。背広は500~800(ウーステット)で仕立てられるが仕立技術(インド人)が非常に悪く利用出来

ない程である。

② 必要とする衣類

ナイロビ、ナクルは高地で涼しい雨期(4,5,6月の大雨期10,11月の小雨期)には朝晩寒い位でカニディガン、セーターが必要である。

公式用として1月1日、4月29日に大使館主催パーティーに出席のためセミフォーマルの服装が必要である。女性の場合、外国人の出席するパーティーに和服を着用する人もある。最近ではロングドレスの人も多い。

(c) 日用品

ほとんど現地購入が可能である。

値段の1例は下記のとおり。

| 品名 | 数量 | 価格 (シリング) | 備考 |
|-----------|----------|--------------|-----------------|
| トイレットペーパー | 1巻 | 1.90 | |
| 石けん | 1個(100g) | 1.00 | ラックス |
| 歯みがき | 1本(135g) | 4.10 | E.A製 コルゲート、シグナル |
| シャンプー | 140ml | 8.60 | |
| くつ下(男子) | 1足 | 12.00 | |
| コールドクリーム | 90g | 6.20 | ボンズ |
| 口紅 | 1本 | 16.35 | マックスファクター |
| 洗濯用洗剤 | 1250g | 8.80 | ケニア製 |
| 台所用洗剤 | 1ℓ | 5.90 | |

4. 使用人

① 職業紹介所

なし。

② 具体的雇用方法

前任者、知人よりの紹介による。

③ 給与月額

最低賃金 200 シリングおよび 1 年 1 カ月のボーナスを政府は定めているが必ずしも守られていない。

④ 最低必要とする使用人

ボーイ 1 人で室内掃除、洗濯、料理、皿洗いをを行う。その他必要に応じ庭師、警備員、子守、運転手を雇う。

⑤ 雇用、解雇に際し特に注意すべき事項

雇用の際は在住日本人の使用人の縁故者がよい。もし何かあれば一諾に解雇出来るので悪い事が出来なくなる。所得税は原則として雇用主が支払う事になっているので給与には税金を含むか含まぬかはっきりした方がよい。

解雇の際は 1 カ月前の予告又は 1 カ月分の給与の支払が必要である。

5. 医療

(1) 医療事情

① 医療施設

公立病院の他にナイロビ、モンバサでは私立病院、開業医（ヨーロッパ人、インド人、ケニア人）もあり医療施設は完備されている。よく入院に利用されるのは、ナイロビ病院、アガガン病院、ケニアッタ病院、ナクール病院、ホカサリンビビ病院等である。

② 日本人医師の有無

ケニア ッタおよびナクール病院には O T C A 派遣専門家が
いる。

③ 出産の安全性

ナイロビ, モンバサ, ナクールに於て日本婦人の出産例
も多くあり必要ない。

(g) 医薬品

薬は医師の処方箋によりストアで購入出来るが家庭用に
風邪薬, 胃腸薬, 虫下し, 傷薬, クロマイ等持参した方がよ
い。

(h) 疾病の種類

① 風土病的なもの

マラリア, ツェツェ蠅による眠り病があるが, ケニアで
は破傷風が非常に多いので破傷風の予防注射をした方が良
い。

② 日本出発前に特にしなければならぬ予防注射

種とう, 黄熱病, コレラなど。

(i) 健康管理上の注意

ナイロビ, ナクールは高地で気圧が低いので急激な運動,
過度の飲酒はつつしむこと。使用人に料理の前に石けんで手
を洗う習慣をつけさせること。

6. 子弟の教育機関

(1) 教育制度の概要

授 業 料 (公立)

Primary School 7年 300~600 シリング (年間)

Secondary School 4年 200~750 シリング (年間)

授業料(公立)

| | | |
|-------------------------|-------|---------------------------|
| Higher Secondary School | 無料 | |
| | | 2年 (214~414 シリング deposit) |
| University | 無料 | |
| Law | _____ | 3年 |
| Economic | _____ | 3年 |
| Engineering | _____ | 5年 |
| Medicine | _____ | 6年 |
| Agriculture | _____ | 3年 |
| Science | _____ | 3年 |
| Arts | _____ | 3年 |
| Architecture & Design | _____ | 3年 |
| Education | _____ | 3年 |
| Commerce | _____ | 3年 |

(a) 通常専門家の子弟が利用している教育機関

ナイロビでは日本人学校がある。普通小学生は日本人学校へ行く場合が多い。現在生徒数約 30 名ならず。中学、高校生はインターナショナルスクールや英国のプライベートスクールに行く人もいる。

(b) 授業料

| | | |
|---------------|-----|------------------|
| 日本人学校 | 1学期 | 700 シリング |
| インターナショナルスクール | 1年 | US\$ 1,300 |
| プライベートスクール | 1学期 | 1,300~1,600 シリング |

(c) 通学方法

日本人学校行きは自家用車、帰りはスクールバス。
バス代は1回 21シリング、インターナショナルスクールバスによる

送迎（1カ月バス代），その他大体自家用車による送迎。

7. 娯楽設備

(1) 保養地，ゴルフ，映画等

映画館，ゴルフ場，プール，テニスコート，乗馬クラブ等あり。ナイロビ，モンバサは高地であるので時々モンバサ，マリンディ等の海岸に下りることが健康上必要である。

(2) 通常の余暇の過ごし方

ゴルフ，麻雀，映画

ナイロビには日本人会があり，運動会等も行われる。

(3) 日本人クラブ，スポーツクラブの有無，料金

スポーツクラブはある。

料 金 年間 150 シリング程度。

8. 電 力

動力用 415 V 50 サイクル 3相

一般用 240 V 50 サイクル 単相

9. 交 通

(1) 交通事情

① 一般交通機関

各都市間は一応バス（長距離高速バスあり），鉄道，乗合タクシーで結ばれている。ナイロビ，モンバサは航空機も利用出来る。ナイロビでは乗用車の数が増加し駐車場が問題となっている。

② 道路事情

市内および幹線道路はほとんど舗装されている。しかし簡易舗装であり常に補修を要する。

③ 特に注意すべき交通法規

左側通行で右側進入車に優先の他は特に注意すべき法則はないが、現地人ドライバーの勝手な運転には注意を要する。又動物が道路を横切るので注意しなければならない。

④ 交通事故の取扱い

所属保険会社間にて処理する。

⑤ 事故補償

強制保険をかけなければロードライセンスは発行されない。

Third Party (対物, 対人, 強制保険)

200 シリング程度

Comprehensive (任意保険)

車種によるが 2,000~3,000 シリング程度

Third Party は対物対人のみで所有者は自己負担。

Comprehensive は 500 シリングまで自己負担で後は全額補償。事故の場合は警察および保険会社にレポートする。

(ロ) タクシー, ハイヤーの利用, 料金

タクシーはメーターのあるのとないのがありメーターのないタクシーを利用する際は乗車前に行き先を言って料金を決める必要がある。ナイロビ空港からナイロビ市内までは 35 シリング程度。長距離の乗合タクシーは割安であるがスピードの出し過ぎによる事故が多いので注意を要する。

(ハ) レンタカー

走行距離によるものと日額によるものがあり、車種によるが 1 km 1.50 シリング又は 1 日 20 ~ 40 シリング程度。

(ニ) 自動車の購入

① 購入方法, 融資方法

ケニアでは車は非常に高価で日本製の車でもこちらで購

入ると日本の2倍以上の価格であるので赴任前に時間的余裕のある人は日本で購入の上送ることをおすすめする。但し輸送には3～4カ月かかる。

現地で車を購入する場合は赴任前に東京銀行より融資を受けておくと便利である。

② 免税輸入特権

専門家は赴任後3カ月以内は輸入車の免税特権がある。免税には所定の用式に日本大使館およびケニア外務省の証明が必要である。

③ 帰国時の売却方法、課税

売却相手が免税特権者でない場合は所定の税金を支払う。

(b) 運転免許

① 国際免許の有効性

1カ年有効、ケニア免許への書き換えは書類のみ(20シリング)

② 免許取得の方法、経費等

運転免許の取得には請負制と時間制があり、請負制は1,200シリング程度で免許がとれるまで(何回テストに落ちても)練習させる。練習は仮免許を取得し(25シリング必要)路上にて行なり。

10. 為替

(1) 相場

US\$ = 6.75 シリング

(2) 滞在費等の受取方法

現地に銀行口座を開設し現地通貨にて引き出す。この場合非居住者口座(External A/C)の方が帰国の際残金をドル

に交換出来るので便利である。

11. 出入国管理

(イ) 税関検査

① 一般事情

専門家として入国する際の税関検査はさほど厳しくない。

② 持込禁止品（国際的禁止品以外の）

特になし。

③ 入国に際しての注意事項

他人への贈り物は税金を課せられる。

④ 持出禁止品

ライセンスのない毛皮、象牙等。

(ロ) 外人登録

なし。

(ハ) ビザの更新手続等

申請書を所属省を通じ経済企画省を経て Immigration Office に提出する。

12. 便宜供与

(イ) 便宜供与の種類

① 住宅手当の現金供与

住宅については現物供与がたてまえであるが National Youth Service および Ministry of Works の専門家は現物供与がなく 1 カ月 300 シリングの現金供与をうけている。

② 出張旅費

所属先および専門家の Position により異なるが宿泊料は定額で支給される。

公用車の提供はあるが絶対数が不足しているので思うよ

うには使用出来ない。

③ その他（住宅提供、現物供与等）

住宅はケニア政府が Government House を提供するものが普通であるが Government House のない場合には政府が Private House を借りて提供する。この場合政府の家主への支払いがおそいので問題になることがある。

(e) カウンターパート

現在では職種によりカウンターパートに適した人を見出すことは非常にむずかしい。

(f) 免税特権

身回品は赴任時に（赴任後3カ月以内に）免税輸入が可能であるがその他の場合は薬は100%、食料は50%の税金を課せられる。

13. 通信・運輸

(i) 郵便事情

① 安全性、配達システム

郵便事情は安全である。戸別配達制度はなく全て私書函制であるので郵便の宛先には P.O.Box No を必ず入れること。

② 電報・電話サービス

電話 …… 市内通話はおおね良好。

主要都市間はダイヤル直通であるがこんでいて時間がかかる。

電報 …… おおむね良好。

③ 手紙、電報の所要日数

手紙 (Airmail) ケニア～日本 4日～6日

電報 2日

(ロ) 運 送

① 陸送・海送業者の有無

運送業者あり。

荷物がモンバサに到着してもナイロビまでの貨車輸送に

1 ヶ月程度必要である。

モンバサ - 横浜間トン当りフレイト US\$ 50.30。

② 家財送付上の手続, 宛名, 注意事項

特になし。

14. 言 語

(イ) 公用語

スワヒリ語, 英語。

(ロ) 現地語事前学習の必要性

英語が出来ればさほどスワヒリ語は必要としない。地方に入れば勿論スワヒリは必要であるが事前にそれほどの必要はないと思われる。

(ハ) 語学学習の施設, 受講時間等

英語は自宅での個人教授方式が多い。1時間 25 シリング程度。スワヒリは学問的に正確なスワヒリの教師はケニアでは少ないが, ナイロビ大学の成人学校にスワヒリ講座がある。

15. 気 候

ケニアは自然的な条件からみれば北東部辺境地方, インド洋に面する海岸地方, ケニア山以西の高原地帯の 3 地域に分けられる。ケニアの面積の半分以上を占める北東部は半砂漠の乾燥地帯であり不毛の地である。

インド洋海岸は高度が低いため高温多湿の熱帯性気候である。西部は高原地帯で赤道直下でありながら海拔 1,000 ~ 3,000

メートルに達するため年間を通じ気温も低く空気は乾燥し快適である。4,5,6月は大雨季, 10,11月は小雨期。

16. 治安

(イ) 一般情勢

部族対立の問題を内包しながら信望の厚いケニアッタ大統領の下で政治的に安定しており, 警察力もかなり強固であり時々強盗, どろぼうの事件もあるが一応平穏である。

(ロ) 夜間外出上の注意

禁止令はないが夜間外出は注意を要する。

(ハ) 緊急時における大使館又は駐在員との連絡方法

自宅電話にて連絡出来る。

17. その他

(イ) 対日感情

ケニアは東アフリカ3国の中では最も穏健な路線を歩んでいる。しかし経済に根強く広がっているインド系の排斥を目的とした措置は一貫してとられており Africanization の意識は内面的には他の2国以上に強いものがある。対日感情は悪くはないが現地人に対する侮辱的言動は厳につつまなければならぬ。

(ロ) 新聞, 雑誌等

① 日本よりの購読方法

海外新聞普及部 〒108 港区芝浦2の9 TEL(453)8311
に希望する新聞雑誌を予約して送ってもらう。

② 日本語雑誌販売店の有無

なし。

(ハ) 風俗・習慣

① 特に禁じられている風俗習慣

特に禁じられている風習はない。

チップはホテルのボーイには1～2シリング程度でよい。

② 専門家としての体面

服装、言動等に留意。

(三) 理髪店、美容院、クリーニング店

理髪店、美容院、クリーニング店にはかなり高級店がある。

| | | |
|---------------|-----------|------------|
| 理 髪 料 金 | ヘヤカット | 7シリング |
| | シャンプー | 5シリング |
| | シェイブ | 5シリング |
| 美 容 料 金 | パーマメント | 55～110シリング |
| | セ ッ ト | 15～45シリング |
| ク リ ー ニ ン グ 代 | 背 広 上 下 | 13.50シリング |
| | ワ ン ビ ー ス | 8.50シリング |
| | ワ イ シ ャ ツ | 3シリング |

(四) 買 物

スーパーマーケットで大抵の日常品は購入できる。

Ⅲ 同国に対する我国の技術協力実績 昭和48年3月31日現在

| 形・態 | 区分 | 農 水 産 | 理 技 | 紅 工 業 | 運 輸 | 通 信 | 厚 生 | 行 政 | そ の 他 | 累 計 (人) | 経 費 | |
|------------------|--------------------------------------|--|--------|-------------|--------|--------|-------------------|--------|-------------|---------------|---------|-------|
| | | | | | | | | | | | (千円) | (千ドル) |
| 研修員受入 | | 18 | 2 | 8 | 7 | 17 | 5 | 9 | 9 | 75 | 64,778 | 153 |
| 専門家派遣 | | 13 | 3 | 4 | 6 | | 82 | | 3 | 148 | 151,645 | 855 |
| 日本青年海外協力隊 | | 28 | 30 | 6 | 36 | | | | 20 | 120 | 247,130 | 699 |
| セ ン タ ー | 名 称 | 業務内容 | | | | | 期 間 | 委員数 | | | | |
| | 小規模工業技術 訓練センター | 技術訓練コース 金属加工部門、電気機 器組立修理部門、メシ ン織製部門、木工部門 経営訓練コース 経営部門 調査部門 | | | | | 89.7 / 49.3 | 21 | 312,782 | 869 | | |
| | 名 称 | 調査内容 | | | | | 期 間 | 団員数 | | | | |
| | 海外中小規模工 業経済協力調査 (イラン タンザニア) | 当該国における中小規模 工業育成のため現況調査 ならびに経済的社会的諸 条件の調査 | | | | | 42.8 / 42.9 | 5 | 5,596 | 16 | | |
| 機 材 供 与 | 機 械 名 | 供与先機関 | | | | | 年 度 | 数 量 | | | | |
| | 漁具、魚網、船 舶用エンジン | 水産局 | | | | | 41 | 1式 | 3 | 7 | | |
| | 農 機 具 | 農務省 | | | | | 43 | | 2,356 | 7 | | |
| | 航空無線用機材 | 航空局 | | | | | 44 | | 7,297 | 20 | | |
| | 車両整備用機材 | 国家青年奉仕隊 | | | | | 45 | | 235 | 1 | | |
| | 探鉱調査用機材 | ナイロビ大学 | | | | | 46 | | 1,775 | 1 | | |
| 与 | 産床検査、外科 手術用機器 | ナクールエンブ病院 | | | | | 42 | | 8,014 | 22 | | |

| | 機 材 名 | 供 与 先 機 関 | 年 度 数 量 | (千円) | (千本ドル) |
|------------------|---------|-----------|---------|--------|--------|
| 機 材 供 与 | X線テレビ集団 | 国立病院 | 43 | 28,259 | 78 |
| | 検査車 | | | | |
| | 内 視 鏡 | ナクール病院 | 45 | 4,188 | 12 |
| | 同診用X線装置 | ケニヤック病院 | " | 20,877 | 57 |
| | 竹折手術set | エンブ病院 | " | 8,824 | 11 |
| | X線透視撮影台 | | | | |
| | 医薬品類 | エンブ病院 | 46 | 5,757 | 16 |
| | 監視装置 | ケニヤック病院 | 46 | 44,165 | 126 |
| | 医薬品類 | ナクール病院 | 46 | 17,171 | 25 |

N ケニア関係資料目録

昭和48年3月31日現在

| № | 文 料 名 | 作 成 年月日 | 発行 部 課 | 備考 |
|----|--------------------------|------------|-----------|----|
| 1 | ケニア小規模工業技術センター実施調査団調査報告書 | 38.1.1 | 七 | |
| 2 | ケニアおよびタンザニアにおける医療状況調査報告書 | 41.1.0 | 医-8 | |
| 3 | ケニアおよびタンザニアの医療事情 | 43.3 | 医-18 | |
| 4 | ケニア小規模工業技術訓練センター報告書 | | | |
| | - 金属加工部門 - | 43.7 | 七 | |
| 5 | " " - 皮革加工部門 - | 43.10 | 七 | |
| 6 | " " - 経営部門 - | " | 七 | |
| 7 | " " - 電気部門 - | " | 七 | |
| 8 | " " - 縫製部門 - | " | 七 | |
| 9 | " " - 木工部門 - | " | 七 | |
| 10 | " " - 機械化部門 - | " | 七 | |
| 11 | ケニア医療協力実施調査団調査報告書 | 44.4 | 医-35 | |
| 12 | ケニア医療協力（ICU創設）調査団調査報告書 | 45.3 | 医-49 | |
| 13 | 各国事情のしかり - ケニア編 -（初版） | 46.3 | 管 | |
| 14 | 総合報告書（ケニア小規模工業技術訓練センター） | 48.2 | 七 | |

上記資料に関する問合せは総務部情報管理課資料係へ。

V 海外事務所等連絡先

1. 日本大使館

1) Address

Embassy of Japan
Bank of India Building,
Kenyatta Avenue, Nairobi, KENYA.

2) Mailing Address

Embassy of Japan
P. O. Box 20202, Nairobi, KENYA.

3) TEL Nairobi 32955

2. OTCAナイロビ海外事務所

1) Address

1st Floor, Windsor House
University Way, Nairobi, KENYA.

2) Mailing Address

OTCA Nairobi Office,
% Embassy of Japan,
P. O. Box 20202, Nairobi, KENYA.

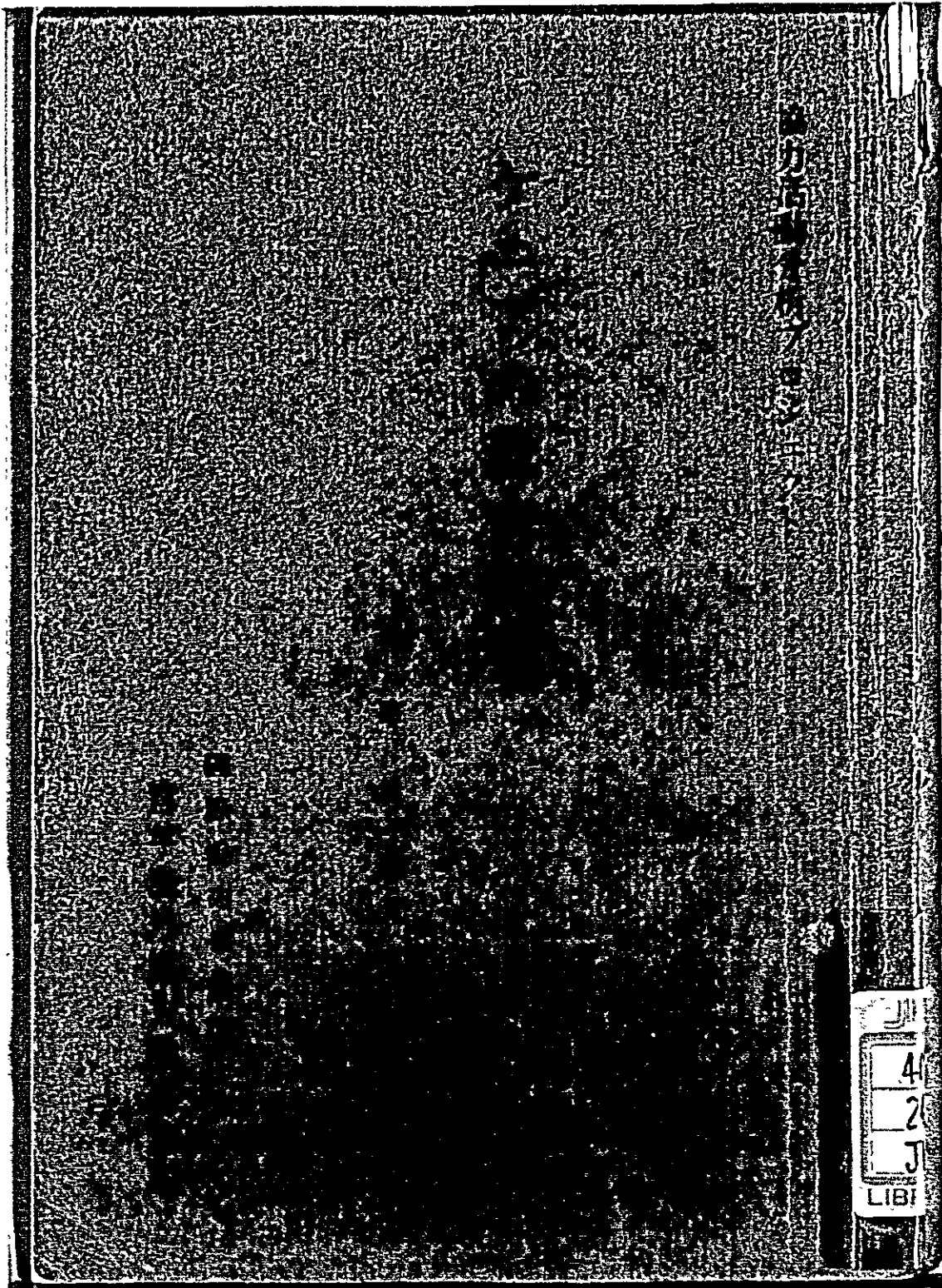
3) TEL 26252

3. 海外事務所長自宅

1) Address

Lenana Road, Nairobi, KENYA.

2) TEL Nairobi 23562



ج
4
2
J
LIBI